

「中国の改革開放を支えた日本人」 ---語り継ぐ思い

講師:加藤青延 日中関係学会 副会長

(元 NHK 専門解説委員、武蔵野大学特任教授)

講師:小柳ちひろ ドキュメンタリー ディレクター

講師:江越眞 日中関係学会 監事

監査法人アヴァンティア・シニアアドバイザー

日中関係学会(会長・宮本雄二元駐中国大使)文化交流部会は、「語り継ぐ日中関係」と題し、これまで日中関係に尽力された方々をお招きし、日中関係に関するご自身の体験や、次世代に伝えたい思いを中心にお話いただく研究会を、今後、シリーズ化して開催することと致しました。

第一回は、2019年にNHKで初めて放映されて以来、いまもなお、大きな反響を呼び続けている「中国の改革開放を支えた日本人」をテーマに取り上げ、この番組制作に深く関わった方々や、当時の改革開放の状況をよく知る方など、3名の講師の方をお招きし、お話しを伺います。

中国で市場経済の導入を図った「改革開放」が始まって40年以上が経過した現在、中国は世界第2位の経済大国に発展し、国際社会におけるプレゼンスを益々拡大させています。

実は、中国の発展の原点となった「改革開放」のモデルとしたのが日本だったのです。政財界のトップから建設の現場まで、官民を挙げて改革開放を支援した無数の日本人たち。そして葛藤を抱えながらも、祖国の経済建設のために、日本人に協力した中国人たち。この番組は多くの関係者の証言をもとに、当時の状況をつぶさに明らかにしていきます。

研究会では、日本における対中感情が悪化の傾向を辿る昨今の状況を踏まえ、特に改革開放以降の日中関係を振り返り、両国関係の改善に尽力した関係者の思いを映像で記録し、次世代へのアーカイブとして伝えていきます。非会員の方も大歓迎ですので、奮ってご参加ください。

■7月5日(月) 18:30-20:30 ZOOMによるオンライン研究会

<式次第(案)>

■テーマ:「中国の改革開放を支えた日本人」——語り継ぐ思い

18:30-18:50 加藤青延さん「本番組制作の経緯と放送後の反響」

18:50-19:10 小柳ちひろさん「番組制作秘話」

19:10-19:30 江越眞さん「次代に伝えたい思い」

19:30-20:10 座談 モデレーター:方淑芬さん 日中関係学会評議員

(若い世代を代表し、方さんが本番組に対しての質問、感想を中心に講師にお話しをお伺いします)

20:10-20:30 質疑応答 (終)

====講師紹介====



加藤青延 日中関係学会 副会長 元NHK 専門解説委員、武蔵野大学特任教授
東京都出身。お茶の水女子大学附属中学校、東京都立青山高等学校を経て、1978年
東京外国語大学外国語学部中国語学科卒業、同年4月日本放送協会(NHK)に入局、
1987年にNHK 香港支局長となり、2年間の勤務を経て、1989年NHK 北京支
局特派員、1993年よりNHK 北京支局長に就任、2002年より中国総局長に就任、
2006年解説主幹。同年ギャラクシー賞優秀賞受賞、2012年日中友好会館文化事業
諮問委員会諮問委員、2014年解説委員、2015年日本日中関係学会副会長、2017
年東京外国語大学経営協議会委員、この間、武蔵野大学法学部政治学科特任教授、早
稲田大学政治経済学術院非常勤講師等も歴任した。



小柳ちひろ 株式会社テムジン所属 ドキュメンタリーディレクター
同志社大学卒業後、映像製作会社テムジンに入社。「三つの名を生きた兵士たち～台
湾先住民“高砂族”の20世紀」(2012ギャラクシー賞他)、「女たちのシベリア抑留」(2
014文化庁芸術祭賞優秀賞他)など戦争関連の取材を多く手がける。中国関連の番組
として、「敦煌莫高窟 美の全貌」(2007)、「震えやまぬ小さな心 四川大地震報告」
(2008)、「辛亥革命100年 第一回 孫文 革命を支えた日本人」(2012)、「シリー
ズ兵士たちの戦争 満州国軍 “五族協和”の旗の下に」(2012)、「パンダ山へ帰る
密着 野生化プロジェクト」(2017)、「中国 “改革開放”を支えた日本人」(2019)な
ど。2015年度放送ウーマン賞受賞。



江越眞 日中関係学会 監事 監査法人アヴァンティア・シニアアドバイザー
福井県出身。1966年中央大学卒業、1968年監査法人トーマツ(中国では徳勤・中
国)に1期生として入社、1978年中国担当を命ぜられて以来、2010年退職まで主
に財政部と交流。
その後、西村あさひ法律事務所、(株)ケア・サービス、監査法人アヴァンティアで
財政部との交流が続き、一昨年の楼 継偉、元・財政部長の来日招聘、2名のトーマツ
研修生の巡視員(審議官クラス)昇格で43年間の交流の節目を迎えた。
この間、中国の外資導入政策、対中ODA業務をサポートし、訪中は、100回以上を数
える。
2005年～2007年 大来塾(フォーラム'80)会長
2015年～2020年、日中関係学会副会長を歴任
著書に「飛躍するチャイナ・イノベーション」(2019年共著、中央経済社)がある。

＝開催要領＝

日時： 7月5日(月) 18:30～20:30 (質疑応答込み)
会場： オンライン ZOOM (定員300名、先着順)
参加費： 会員(社会人・学生)と非会員(学生)は無料、非会員(社会人)は1000円

【会員(社会人・学生)、非会員(学生)の方】

下記のリンクから「Google form」を開き、▼ご氏名、▼ふりがな、▼メールアドレス、▼電話番号(任意)、▼ご所属(学生非会員の場合は、学校名、学部、学年)▼所属支部(関東・東海・関西・海外)をご記入の上、送信して下さい。(登録後「受け付けました」とのメッセージが出ますが、確認メールは送付されませんので、重複登録にご注意下さい)<https://forms.gle/LehxirxbkywrZGV8>

何らかの事情で Google form を開けない方は、Eメールの件名に「**7月5日研究会参加希望**」とお書きの上、上記の必要事項を記載して、下記の担当者にお送りください。ZOOMのリンク情報は、後日、Eメールでお知らせします。ご不明な点があれば担当者にお尋ねください。

■担当： 方淑芬(日中関係学会事務局) fangshufen0218@gmail.com

【非会員(社会人)の方】

下記のリンクから、「イベントペイ」を開き、必要事項をご記入ください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=6794493562486728&EventCode=P178772110

<参加費のお支払い方法>

▼クレジットカードの方は、お申し込みと同時の決済となり、すぐにZOOMのリンク情報をメールでお知らせします。

▼コンビニ決済、ペイジー決済をご希望の方には、支払い方法をご案内し、入金確認のあと、ZOOMのリンク情報をメールでお知らせします。尚、入金後の返金はできかねますのでご了承ください。ご不明の点があれば、下記の担当者までご連絡ください。

■担当： 高山勇一(日中関係学会事務局) takayamayu5@gmail.com

準備の都合上、参加申し込みは、**7月2日(金)までに**お願いします。なお、それ以前に申し込みが定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

皆様のご参加を、心より、お待ちしております。

日本日中関係学会本部事務局

〒108-0073 東京都港区三田 4-7-19 ハタビル2F